

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	多賀町 254436
地域名 (地域内農業集落名)	木曾 (木曾)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.46 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.46 ha
② 田の面積	9.46 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.04 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	8.60 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	8.10 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現状: 水稻は個人農家8人(30代~80代、うち70歳以上が60%)と法人1経営体で生産、そば、麦、大豆は(農)グリーンファーム木曾で生産している。耕作放棄地の農用地はない。
 課題: ブロックローテーションにより生産を行っており、また(農)グリーンファーム木曾は転作作物の生産しか行わない事から農地の集約化は難しい。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の所得向上のための作物の栽培・形態について取組む。
 ・有機農業の導入
 ・野菜等の取組面積の維持

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地の集約化は、担い手数人で行えるような形態にする。 病気等で耕作が継続できないことが生じた場合は、担い手で振り分けて耕作していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	62 %	将来の目標とする集積率	75 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
4ブロックによる転作形態の実施			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
継続して集落で話し合いを行い、農地の集積・集約化の取り組みを進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
今後離農者等の希望があれば活用する。
(3)基盤整備事業への取組
整備田は現状維持
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
集約化を進めるが、将来の担い手として小規模農家の育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
効率化が期待できる作業は随時委託していきたい。 防除作業は継続してJA東びわこへ委託

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①獣害侵入防止施設の点検保全管理に努める。
- ②環境こだわり米の作付けに引き続き取り組む。
- ③自動操舵田植え機の購入
- ⑤果樹の栽培を継続して取り組む。
- ⑦世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策に取り組み農道や水路等を共同活動により保全する。
- ⑧担い手の利用状況などを考慮のうえ、出荷・調製施設を整備し集約化を進めたい。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻	0.20 ha	0 ha		0.00 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.49 ha	0 ha	水稻	0.72 ha	0 ha		
利用者			0.00 ha	0 ha	水稻	0.30 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.31 ha	0 ha	水稻	0.06 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.72 ha	0 ha	水稻	0.78 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.39 ha	0 ha	水稻	0.34 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.78 ha	0 ha	水稻	0.77 ha	0 ha		
利用者		水稻	0.64 ha	0 ha	水稻	1.00 ha	0 ha		
認農		水稻・野菜	1.70 ha	0 ha	水稻・野菜	1.58 ha	0 ha		
認農		麦そば大豆	3.7 ha	0.0 ha	麦そば大豆	2.88 ha	0.00 ha		
認農		水稻	0.33 ha	0.0 ha	水稻	0.53 ha	0 ha		
認農		野菜・果樹	0.22 ha	0.0 ha	野菜・果樹	0.47 ha	0 ha		
			ha	0.0 ha	検討中	0.04 ha	0 ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	11経営体		9.44 ha	0.00 ha		9.46 ha	0.00 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	東びわこ農業協同組合	薬剤手配・農薬散布・移動運搬	水稲・麦・大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。